

両国エリアマップ

凡例

- 小さな博物館
- △ 工房・ショップ
- 神社
- △ 寺院
- 文 学校
- 警察署(交番)
- 名所・史跡・公共施設
- 1 裏面掲載史跡
- 都営・京成タウンバス
- 墨田区内循環バス
- 街あるき案内処
- 相撲部屋

0m 100m 200m 300m

S=1:6,000

N

- ホテル
- トイレ
- 観光案内所
- △ 街あるき案内処
- 相撲部屋

- 1 横網2
- 横網町公園
- 刀剣博物館
- △ 旧安田庭園
- 6 舟橋聖一生誕記念碑
- THE GATE HOTEL by HULIC
- アパホテル&リゾート(両国駅タワー)
- 8 国技館
- 江戸東京博物館(休館中)
- 棚稻荷神社
- 22 芥川龍之介生育の地
- 相撲写真資料館
- 本因坊屋敷跡
- 32 塙原橋
- 桐の博物館
- 吉良邸跡・本所松坂町公園
- 33 江島杉山神社・鍼灸あん摩博物館

- 1 村松志保子の産婆学校跡
- 德山稻荷神社
- 片男波部屋
- 10 山田記念病院
- むさしや豊山
- 二葉小
- 12 蔡本鍬雲旧居跡
- 尾張屋
- 松倉米吉旧居跡
- 13 東あられ本舗両国本店
- 野見宿禰神社
- 寿座の跡
- 34 大関鞆工房
- フットマークギャラリー
- 小林一茶居住の地
- 36 みどりコミュニティセンター
- 元徳稻荷神社
- 立川第二児童遊園(安兵衛公園)
- 37 立川
- 文 菊川小

- 1 横網1
- 都営両国駅前
- 日本大学第一高・中
- 14 岡内重俊旧居跡
- 錦戸部屋
- 三遊亭圓朝旧居跡
- 16 河竹黙阿弥終焉之地
- 亀沢1
- 北斎通り
- 17 すみだ北斎美術館
- 亀沢2
- 緑図書館
- 18 江川太郎左衛門屋敷跡
- 亀沢3
- 緑1
- 19 津軽家上屋敷跡
- 亀沢4
- 緑2
- 20 野見宿禰神社
- 亀沢三丁目
- 緑3
- 21 斎藤緑雨旧居跡
- 亀沢四丁目
- 緑4
- 22 陸奥部屋
- 浅香山部屋
- 勝海舟旧居跡
- 23 大高源五の句碑
- 千歳橋
- 二之橋
- 24 旧両国橋広小路跡
- 西豊川橋
- 新豊川橋
- 25 与兵衛館発祥の地
- 菊花橋
- 二之橋
- 26 春日野部屋
- 立川
- 菊川小
- 27 回向院
- 千歳2
- 千歳3
- 28 時津風部屋
- 立川1
- 立川2
- 29 芥川龍之介文学碑
- 立川3
- 立川4
- 30 勝海舟生誕の地
- 木瀬部屋
- 木瀬
- 31 吉良邸跡・本所松坂町公園
- 千歳1
- 千歳
- 32 塙原橋
- 千歳2
- 千歳3
- 33 江島杉山神社・鍼灸あん摩博物館
- 千歳4
- 千歳

- 1 若宮公園入口
- 高砂部屋
- 三ツ目通り
- 11 NTT墨田「慰靈の碑」
- 石原4
- 文 錦糸中
- 12 松倉米吉旧居跡
- 石原3
- 石原4
- 13 松倉米吉旧居跡
- 石原3
- 石原4
- 14 本所1
- 石原2
- 石原3
- 15 本所2
- 石原2
- 石原3
- 16 本所3
- 石原3
- 石原4
- 17 本所4
- 石原4
- 石原4

両国

江戸時代、川開きの花火や回向院の相撲でも知られ、江戸随一の賑わいを見せた両国。吉良邸跡や北斎、海舟ら名だたる人物の足跡など、歴史のエピソードがそこかしこに!

1 村松志保子の産婆学校跡

沼田藩の侍医の家に生まれた村松志保子が旧藩主の協力を得、明治21(1888)年、日本初の産婆学校「安生堂産婆学校」を創立。

2 横網町公園

園内の東京都慰靈堂には震災や戦災による犠牲者が祀られ、毎年、春と秋に大法要が営まれる。

3 旧安田庭園

元禄年間(1688~1704)に造られた潮入式回遊庭園。園主は安田善次郎を最後に東京市に寄付され、現在は区立公園に。

4 刀剣博物館

日本刀を保存・公開し、世界にアピールする拠点。江戸の文化が色濃く残る両国で、武家文化とも深い繋がりのある日本刀文化の普及を行っている。

5 御蔵橋跡

幕府の資材置き場、御竹蔵に隅田川から引き込んだ掘に渡した橋跡。江戸東京博物館、横網町公園、国技館は、この御竹蔵跡地にある。

6 舟橋聖一生誕記念碑

明治37(1904)年、現在の横網で生まれた。堀辰雄とは帝大の同級生。生誕の地には、代表作「花の生涯」の碑が立つ。

7 百本杭の跡

土手の保護のため川に多数打ち込んだ杭のこと、両国界隈で育った人にとどての原風景であった。

8 国技館

変転の歴史を刻む大相撲の殿堂

年6回の大相撲本場所のうち3回が開かれる。明治42(1909)年、回向院の隣に開場したが、失火、震災、戦災など度重なる悲劇に見舞われる。東京大空襲で焼失し、戦後、再建されたが、進駐軍に接収された。相撲興行の拠点は戦前に移ったが、昭和59(1984)年、銅板葺きの現在の建物が完成、大相撲は両国に戻った。



9 江戸東京博物館 (休館中。令和7年中まで)

驚きの復元模型が並ぶ

実物大の日本橋、大名屋敷や長屋などの復元模型をはじめ、豊富な実物資料で江戸・東京の歴史と文化を紹介するミュージアム。館内にはミュージアムショップのほか、食事処・茶寮もあり、1階の墨田区観光案内コーナーにはすみだの銘菓など土産品が揃っている。



10 德山稻荷神社

本所築地奉行の屋敷神

万治3(1660)年から本所・深川の開発事業を指揮した本所築地奉行・徳山五兵衛の屋敷神がもとになっている。



11 NTT墨田「慰霊の碑」

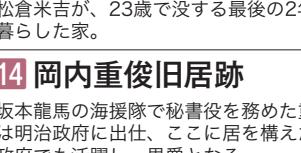
関東大震災で殉職した男子職員2名、東京大空襲で殉職した女子交換手28名、男子職員3名を慰霊する碑。

12 栗本鋤雲旧居跡

幕末は外国奉行として、維新後は有力新聞社の主筆として活躍。明治12(1879)年には本所区初代区議会議長となった。

13 松倉米吉旧居跡

労働をテーマにした作風で知られる歌人・松倉米吉が、23歳で没する最後の2年を暮らした家。



14 岡内重俊旧居跡

坂本龍馬の海援隊で秘書役を務めた重俊は明治政府に出入、ここに居を構えた。政府でも活躍し、男爵となる。

15 すみだ北斎美術館 葛飾北斎の偉業を発信

世界的な芸術家として名高い葛飾北斎(1760~1849)は、本所割下水(現在の墨田区亀沢周辺)生まれ。生涯のほとんどを区内で過ごした。その北斎の偉業を発信する場として、平成28年11月22日開館。



16 河竹黙阿弥終焉の地

狂言作家。明治20(1887)年、72歳で転居し、病没するまで過ごした。「都鳥廓白浪」を始め、多くの名作を残した。

17 三遊亭圓朝旧居跡

落語家の圓朝が明治9(1876)年から11年暮らした場所。この地で塩原太助の一代記を完成させた。

18 江川太郎左衛門屋敷跡

三十六代目江川太郎左衛門英龍の江戸屋敷跡。ここに西洋砲術塾を開き、佐久間象山、榎本武揚など俊英たちが学んだ。

19 津軽家上屋敷跡

陸奥弘前藩の津軽家の上屋敷跡。本所に過ぎたるものとされ、広大な屋敷内にあつた火の見櫓は本所七不思議の一つ。

20 野見宿禰神社

相撲の神様とされている野見宿禰が祀られている。境内には、歴代横綱の名前を刻んだ石碑が立つ。



21 斎藤緑雨旧居跡

正直正太夫と号し、舌鋒鋭い批評家としても知られた小説家。晩年の1年を過ぎ、36年の短い生涯を終えた場所。

22 芥川龍之介生育の地

生後間もなく母が病となり、両国にある母の実家で18歳までを過ごした。両国や隅田川への深い愛情は作品にもうかがえる。

江戸時代、川開きの花火や回向院の相撲でも知られ、江戸随一の賑わいを見せた両国。吉良邸跡や北斎、海舟ら名だたる人物の足跡など、歴史のエピソードがそこかしこに!

相撲とちゃんこの街

江戸の小屋がけから今日の新国技館へ

江戸の相撲興行が回向院を常設場所とするのは天保4(1833)年。開催は春と秋で、小屋がけだった。

次第に両国の代名詞となっていた大相撲の最初の殿堂は、明治42(1909)年に造られた旧国技館だった。

そして戦後の蔵前国技館を経て、昭和59(1984)年、現在の新国技館が完成。最新の技術を結集した造りで、相撲に関わる資料をそろえた相撲博物館が併設され、貴重な展示物が楽しめる。



本場で味わう、絶品ちゃんこ

大相撲とくればちゃんこ!ちゃんことは、鍋に魚介や肉、野菜などをざく切りにして入れ、水炊き風にいたぐ鍋料理を指し、明治時代後期には力士の定番食に。

両国の街には本格的な専門店が10店舗以上並ぶ。店ごとにこだわりぬいた味は、だれもが舌鼓を打つはずだ。



29 芥川龍之介文学碑

区内に二つある文学碑のうちの一つ。児童文学「杜子春」の一節が刻まれている。

30 勝海舟生誕の地

勝海舟の父、小吉の実家である男谷家のあった場所に海舟の生誕の地の碑とその由来の碑文が立つ。

31 本因坊屋敷跡

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に仕えた本因坊算砂を開祖とする囲碁の名門、本因坊家の屋敷跡。

32 塩原橋

橋の名称は、江戸期に薪炭商で財をなした商人、塩原太助の炭屋が橋の下流にあったことに由来する。

区内を自転車で回ろう!

墨田区 自転車シェアリング&レンタル

<https://visit-sumida.jp/event/21224/>



墨田区・一般社団法人 墨田区観光協会

TEL : 03-6657-5160 FAX : 03-6657-5166

Email : sumida@visit-sumida.jp <https://visit-sumida.jp/>

